



改修工事を終えた新しい七中記念館＝いずれも半田市の半田高校で

七中記念館改修工事 竣工式に校長ら出席

半田高百周年事業

半田市の半田高校の創立百周年記念事業で、一九二四(大正十三)年建築の七中記念館が授業に使える建物に改修された。二十一日に竣工式があり、沢田哲校長らがあいさつした。

七中記念館は、同校の前身の県立第七中学校時代に武道場として建設された。

その後、図書館や柔道部の練習場などとして利用されてきたが、二〇〇四年に耐震性に問題があることが分かった。百周年記念事業に向けて発足した実行委員会が「伝統ある建物を残したい」と、卒業生から寄付を募って改修工事をした。

建物は鉄筋コンクリート製の平屋で、二百七十五平方メートル。改修で天井は木と鉄骨で造った小屋組をむき出しにして、建築当時の様子を再現した。200坪のスクリーンやインターネット環境も整備した。

式には前経団連会長の榊原定征さん(十二回生)ら卒業生約五十人も出席。沢田校長は「卒業生の方からのたくさんの思いをいただいた。終日開放して、生徒たちが音楽を流したり議論したりする部屋にしたい」と話した。三年の池内友音



「終日開放したい」と話す沢田校長

さんによるピアノ演奏もあった。